

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	-
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人すばる		
事業所名	特別養護老人ホーム醍醐		
介護サービスの種類	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	定員数	29
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>介護ロボット 〔製品名〕 眠りSCAN 10台 眠りSCANeye 2台 〔導入時期〕 令和3年2月10日</p> <p>通信環境整備 〔製品名〕 無線LANアクセスポイント 18台 WAPM-1266R PoE Layer2 5ポート 6台 BS-GS2005P 無線LANシステム集中管理ソフト 1式 WLS-ADT モバイル端末 2台 KX-Z817</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<p>1. 介護ロボット 〔使用する業務〕 使用する業務は入居者が居室ベッド上で過ごしている時間帯(特に夜間)に入居者の睡眠状況や活動状況を把握することに使用している。 〔使用頻度〕 使用頻度は導入後、眠りSCAN、眠りSCANeyeともに毎日使用している。</p> <p>2. 通信環境整備 眠りSCANの導入にあたり、既存のwi-fi環境では通信が不安定であったが、整備後通信に問題が生じる事もなく眠りSCAN、眠りSCANeyeともに使用できている。また、モバイル端末については、夜勤者2名が携帯することで、眠りSCAN、眠りSCANeyeからのアラート通知を受信し訪室する等の対応に使用している。</p>		

<p>導入効果</p> <p>※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間入居者様の突発的な離床行動形跡がある事に対してご利用者様の安全に不安を感じ精神的負担となっていた問題に対し、導入後離床行動が眠り SCANeye の映像によって目視できるようになり、行動パターンが見える化された。その結果、入居者が安全に居室内を移動できるよう環境を見直した。その後転倒などの事故は起きていない。 ・導入後ご利用者様の快適な睡眠を損なわない適切なタイミングでのトイレ誘導を行えるようになったことで、業務が効率化し、利用者様の負担も軽減したと思われる。 ・夜勤時複数のナースコール呼び出しに対する対応の優先順位をつけるのが難しく精神的負担となっていたことに対し、特にナースコールが頻回であった2名に眠り SCANeye を使用してみた。その結果、入居者様の状態が映像で確認できるようになり、急を要する状態か否かの判断がつきやすく、精神的負担の軽減につながっているとの報告を受けている。 ・夜勤時、離床センサーの寝返り等の誤報によって不要な訪室を行わざる負えない状況に対しては、眠り SCAN の使い方に職員が慣れるまでの約1か月間は離床センサーと眠り SCAN を併用しているため、効果は検証できていない。3月中旬より順次離床センサーを外して眠り SCAN のみの使用に変更する予定。 ・睡眠の状況が客観的に見える化されたことにより、医師も睡眠状況を把握できるようになり、睡眠導入剤等の内服薬の調整を2名の入居者で実施した。調整中であるため明確な利用者様の変化はまだ確認できていないが、今後に期待が持てる状況である。
<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>〔導入後の課題〕</p> <p>導入後の課題としては、眠り SCAN のデータの分析と、ケアの質の向上に繋がっていないことが挙げられる。</p> <p>データの分析とは、同年代での平均値や傾向等と比較した分析ができておらず、データに基づいたケアの調整に繋がっていない。</p> <p>ケアの質の向上については、眠り SCAN 導入後想像以上に睡眠時間が短い状況が確認できた。この結果から、日中の活動性が低い事が1つの要因として考えられるが、その事に対してケアの調整がまだ行っていない。</p>

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人けやき		
事業所名	指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームなの花荘 【事業所番号：第0673000352】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	60名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ型見守り支援機器 A.I.Viewlife [導入台数 10台] ・生体センサー [導入台数 6台] ・スマートフォン（見守り支援機器と連動） [導入台数 13台] ・Wi-Fi アクセスポイント LAN 配線工事 <p>[導入時期] 令和3年2月23日</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者が居室で臥床している時、特に夜間帯は常時使用している。 ・危険予兆動作と危険動作を検知した時は、スマートフォンに通知し、スマートフォン又はパソコンのライブ画像で確認した上で、訪室の可否を判断して対応している。 ・入居者の動きを録画された画像で確認し、ケアの見直しをしている。 		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	<p>導入1ヶ月後評価 アンケート実施…介護員23名</p> <p>○使用は慣れたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慣れた 87% ・慣れない 13% <p>○不要な訪室は減ったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減った 92% ・変わらない 4% ・増えた 4% <p>（センサー作動時、ライブ画像で入居者の状況を確認することで訪室の必要性を判断して対応している。不要な訪室は減っている。）</p> <p>○身体的負担は軽減しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減した 13% ・いくらか軽減した 74% ・変わらない 13% ・増えた 0% <p>（不要な訪室が減ったことで、8割強の介護員が軽減したと感じている。）</p>		

	<p>○精神的負担は軽減しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減した 13% ・変わらない 13% ・いづらか軽減した 70% ・増えた 4% <p>○事故に対する不安は軽減しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減した 22% ・変わらない 0% ・いづらか軽減した 78% ・増えた 0% <p>(センサー作動時や気になった時など、ライブ画像で入居者様の状況を確認できることで、介護員全員が不安は軽減したと感じている。)</p>
<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>○スマートフォンへの1本化</p> <p>現在、ナースコールは PHS、見守りセンサーはスマートフォンに通知があるため、介護員は2台持って入居者様の介護を行っている。 ⇒令和3年度にナースコールを更新することで、ナースコールの通知もスマートフォンにできるようにする。</p> <p>○カメラや生体センサーの台数の増加</p> <p>⇒今後、台数の増加について検討していく。</p> <p>○事故の検証、事故件数の変動等の検証</p> <p>⇒事故発生時の画像を基に検証を行い、適切な対策を講じることで事故を予防する。事故件数の変動等を繰り返し検証する。</p> <p>○ケアの見直し</p> <p>⇒入居者様の動きを録画された画像で確認し、ケアの見直しを繰り返し行う。</p>

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人けやき		
事業所名	ユニット型地域密着型特別養護老人ホームなの花荘 【事業所番号：第 0693000069】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	20名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ型見守り支援機器 A.I.Viewlife [導入台数 6台] ・生体センサー [導入台数 4台] ・スマートフォン（見守り支援機器と連動） [導入台数 7台] ・Wi-Fi アクセスポイント LAN 配線工事 <p>[導入時期] 令和3年2月23日</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様が居室で臥床している時、特に夜間帯は常時使用している。 ・危険予兆動作と危険動作を検知した時は、スマートフォンに通知し、スマートフォン又はパソコンのライブ画像で確認した上で、訪室の可否を判断して対応している。 ・入居者様の動きを録画された画像で確認し、ケアの見直しをしている。 		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	<p>導入1ヶ月後評価 アンケート実施…介護員 11名</p> <p>○使用は慣れたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慣れた 45% ・慣れない 55% <p>○不要な訪室は減ったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減った 55% ・変わらない 36% ・増えた 9% <p>（センサー作動時、ライブ画像で入居者様の状況を確認することで訪室の必要性を判断して対応している。不要な訪室は減っている。）</p> <p>○身体的負担は軽減しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減した 0% ・いづらか軽減した 82% ・変わらない 9% ・増えた 9% <p>（不要な訪室が減ったことで、8割以上の職員が軽減したと感じている。）</p>		

	<p>○精神的負担は軽減しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減した 0% ・変わらない 45% ・いくらか軽減した 55% ・増えた 0% <p>○事故に対する不安は軽減しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減した 9% ・変わらない 27% ・いくらか軽減した 64% ・増えた 0% <p>(センサー作動時や気になった時など、ライブ画像で入居者様の状況を確認できることで、不安はいくらか軽減している。)</p>
<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>○スマートフォンへの1本化</p> <p>現在、ナースコールは PHS、見守りセンサーはスマートフォンに通知がくるため、介護員は 2 台持って入居者様の介護を行っている。 ⇒令和 3 年度にナースコールを更新することで、ナースコールの通知もスマートフォンにくるようにする。</p> <p>○カメラや生体センサーの増数の増加</p> <p>⇒今後、台数の増加について検討していく。</p> <p>○事故の検証、事故件数の変動等の検証</p> <p>⇒事故発生時の画像を基に検証を行い、適切な対策を講じることで事故を予防する。事故件数の変動等を繰り返し検証する。</p> <p>○ケアの見直し</p> <p>⇒入居者様の動きを録画された画像で確認し、ケアの見直しを繰り返し行う。</p>

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人けやき		
事業所名	指定短期入所生活介護施設特別養護老人ホームなの花荘 【事業所番号：第0673000287】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	24名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ型見守り支援機器 A.I.Viewlife [導入台数 5台] ・スマートフォン（見守り支援機器と連動） [導入台数 5台] ・Wi-Fi アクセスポイント LAN 配線工事 <p>[導入時期] 令和3年2月23日</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が居室で臥床している時、特に夜間帯は常時使用している。 ・危険予兆動作と危険動作を検知した時は、スマートフォンに通知し、スマートフォン又はパソコンのライブ画像で確認した上で、訪室の要否を判断して対応している。 		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	<p>導入1ヶ月後評価 アンケート実施…介護員11名</p> <p>○使用は慣れたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慣れた73% ・慣れない27% <p>○不要な訪室は減ったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減った9% ・変わらない73% ・増えた18% <p>（センサー作動時、訪室が必要なケースが多く、変わらないとの意見が多かった。）</p> <p>○身体的負担は軽減しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減した0% ・いくらか軽減した36% ・変わらない64% ・増えた0% <p>（負担は変わらないとの意見が多かったが、センサー作動時、ライブ画像で利用者様の状況を確認し、訪室しなかったケースも若干あり、いくらか負担が軽減しているとの意見もあった。）</p>		

	<p>○精神的負担は軽減しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減した 0% ・変わらない 55% ・いくらか軽減した 27% ・増えた 18% <p>○事故に対する不安は軽減しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽減した 0% ・変わらない 18% ・いくらか軽減した 82% ・増えた 0% <p>(気になった時は、ライブ画像で利用者様の状況を確認できるので、不安はいくらか軽減している。)</p>
<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>○スマートフォンへの1本化 現在、ナースコールは PHS、見守りセンサーはスマートフォンに通知がくるため、介護員は2台持って利用者様の介護を行っている。 ⇒令和3年度にナースコールを更新することで、ナースコールの通知もスマートフォンにくるようにする。</p> <p>○カメラの台数の増加や生体センサーの追加 ⇒今後、台数の増加、追加について検討していく。</p> <p>○事故の検証、事故件数の変動等の検証 ⇒事故発生時の画像を基に検証を行い、適切な対策を講じることで事故を予防する。事故件数の変動等を繰り返し検証する。</p> <p>○ケアの見直し ⇒利用者様の動きを録画された画像で確認し、ケアの見直しを繰り返す。</p> <p>○カメラを付ける居室の再選定とカメラの取り付け方法の習得 利用者の入れ替えがあり、その都度のカメラの居室移動や設定が難しい。 ⇒今後、カメラの取り付けや設定について、業者からの指導を受ける。</p>

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 豊裕会		
事業所名	六日町あいあい特別養護老人ホーム		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	80名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] ナースコール連動型見守り機器 30台 アイホン設備一式、ナースコール子機用無線工事一式 [導入時期] 令和3年3月末日 [導入台数] 30台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	現在、利用者の見守り支援について離床センサー、立ち上がりセンサー等を使用し転倒滑落の未然防止を行っているが、その都度訪室することへの職員の業務負担軽減、夜間帯の少人数での業務負担軽減の必要性があり、この度、ナースコール連動型見守り機器を新規導入し、居室内に見守りカメラを設置し、介助が必要な時以外は訪室しなくとも安全確認ができる見守り支援を行い、職員の負担軽減を図ってきたい。要介護度3, 4の方の転倒リスクが高いため、ナースコールに連動する見守りカメラ30台程度を導入し、未然防止策が徹底できるよう活用したい。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	○導入後(翌年)1年目 ・新しい機器の使い方の勉強会。 ・ご家族への説明とご理解を得る。 ・職員間で連携し、カメラ作動時の記録や様子を共有する。 ・新機種導入半年後に負担軽減の有無について聞き取りを行う。 ○2年目 ・ユニット内のパソコンとナースコール機器(スマホ型)を連動させ介護記録のパソコン管理化を推進し記録の業務時間削減を図る。 ・さらなる負担軽減の有無について聞き取りを行い不都合があれば施設内で検討していく。 ○3年目 ・新しい機器の使用に慣れ、有効活用が定着している。記録や事務的作業の負担が減り、利用者へ関わる時間が確保できている。		

導入後の課題や次年度計画の確認等

- ・カメラ作動時の訪室回数、訪室した際の時間、直接・間接負担の軽減効果、満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等、総合的な情報収集を行う。
- ・職員へのアンケートを作成し、導入前と導入後の変化を分析する。
- ・必要以上に利用者の居室へ訪室しなくなることで利用者のプライバシーが尊重される生活空間となっているか、利用者、家族からも聞き取りを行う。

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 松寿会		
事業所名	ユニット型特別養護老人ホーム長生園		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	32名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]</p> <p>・眠りSCAN (パラマウントベッド) 【見守り・コミュニケーション支援】</p> <p>・AP-9500 (ワイヤレスアクセスポイント取付費込) 【通信環境整備】</p> <p>[導入時期] 令和3年2月1日 [導入台数]</p> <p>眠りSCAN 5台 AP-9500 4台</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	<p>現在5名の入所者の方に眠りSCANを常時使用し、夜間の睡眠状況の把握を行っている。</p> <p>介護業務の精神的な負担の軽減が図れるかのアンケート調査(予備調査)を行っている。</p>		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	<p>① 眠りSCANのデータは本体の記憶媒体に保存されるが、通信環境を整備したことで、眠りSCANで得られた入所者の睡眠情報等がフロアのパソコンにてリアルタイムで確認できるようになった。</p> <p>② 上記①の通信環境整備により、眠りSCANのデータをパソコンに連動させ、リアルタイムで、ベッド上の入所者の状態が把握されるため、入所者のプライバシーや睡眠を妨げることなく、必要なタイミングでトイレ誘導等が可能となっている。</p>		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 眠りSCANを用いたケアマニュアル、事例検討方法の作成。 ・ 入所者の生活を24時間把握するためのシートに、把握した睡眠データの情報を加えて、24時間シートを作成する。 ・ 上記内容を踏まえた、個別計画書の作成と実施。 ・ 睡眠に課題のある入所者に対する、カンファレンスを行い、ケア内容を修正し実践する。実践の状況や睡眠状況の観察を行い記録する。 		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	特別養護老人ホームしおん荘		
介護サービスの種類	指定介護老人福祉施設	定員数	80
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 無線 LAN 配線工事 一式 インカム ほのぼの TALK 5 台分 / [導入時期] 令和 3 年 3 月 31 日 [導入台数] 一式		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	職員間の情報共有、夜勤時の見守り時の迅速な対応が可能になるなど日常的に使用。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと (介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度など)	職員間の連絡の際の時間の短縮により、入居者に対しての迅速な対応が可能になり、また、職員の負担の軽減につながっている。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	○導入後 (翌年) 1 年目 夜勤時の見守り体制の強化 職員の負担軽減 ○2 年目 業務の見直しによる効率化 看取り時の迅速な対応 ○3 年目 科学的根拠に基づくケアの実施		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	湯野浜思恩園特定施設		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護	定員数	50名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名] ほのぼの TALK++ (ワイヤレス) 5台 無線 LAN 配線工事一式</p> <p>[導入時期] 令和3年3月26日 [導入台数] 一式</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	入居者の要支援・介護者の増加に伴う夜勤時の見守り体制の強化、業務改善実施による職員の負担軽減のために日常的に使用。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	夜勤巡回時間の短縮や職員間での連携がとりやすくなったことにより介護職員の負担軽減、業務効率化が可能になった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<p>○導入後(翌年)1年目 夜勤職員の身体的・精神的負担の軽減 職員の負担軽減</p> <p>○2年目 業務効率化による職員配置の見直し</p> <p>○3年目 個別ケアの強化</p>		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 長井福祉会												
事業所名	特別養護老人ホーム慈光園												
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	160名										
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] KENWOOD TPZ-D510 2W アンテナ内蔵モデル [導入時期] 令和3年2月22日 [導入台数] 45台												
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)												
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	介護職員及び看護職員全員が装着し毎日の業務を行っている。入浴、誘導、見守り、情報共有など随時、連携を図りながら入所者へ対応している。												
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	試用期間2週間、運用開始後1週間後にインカムを使用する全職員(介護職員・看護職員)にアンケート調査実施。結果について以下参照。 ■性別 <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>59名</td> </tr> </table> ■年齢構成 <table border="1"> <tr> <td>10代～20代</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>30代～40代</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>50代～</td> <td>25名</td> </tr> </table>			男性	15名	女性	59名	10代～20代	19名	30代～40代	30名	50代～	25名
男性	15名												
女性	59名												
10代～20代	19名												
30代～40代	30名												
50代～	25名												

1. インカムに有益性を感じますか。

感じる	41名 (55.4%)
やや感じる	32名 (43.2%)
あまり感じない	1名 (1.4%)
感じない	0名 (0%)

有益性を感じている職員が98.6%

2. 生産性が向上（業務の効率化）したと思いますか。

思う	29名 (39.1%)
やや思う	43名 (58.1%)
あまり思わない	2名 (2.7%)
思わない	0名 (0%)

生産性が向上したと感じている職員が97.2%

3. 職員間の連携強化につながっていますか。

思う	33名 (44.6%)
やや思う	35名 (47.3%)
あまり思わない	6名 (8.1%)
思わない	0名 (0%)

連携強化につながっていると感じている職員が91.9%

4. 身体的負担軽減につながっていますか。

思う	19名 (25.7%)
やや思う	35名 (47.3%)
あまり思わない	19名 (25.7%)
思わない	1名 (1.4%)

身体的負担軽減につながっていると感じている職員が73.0%

5. 精神的負担軽減につながっていますか。

思う	14名 (19.0%)
やや思う	38名 (51.4%)
あまり思わない	21名 (28.4%)
思わない	1名 (1.4%)

精神的負担軽減につながっていると感じている職員が70.4%

	<p>6. 具体的に、業務の改善につながっている点をおしえてください。 (複数回答可)</p> <table border="1"> <tr> <td>他職員への伝達が速くなった</td> <td>61名(82.4%)</td> </tr> <tr> <td>情報共有がしやすい</td> <td>41名(55.4%)</td> </tr> <tr> <td>報告の漏れや忘れがなくなった(少なくなった)</td> <td>10名(13.5%)</td> </tr> <tr> <td>緊急時の対応が素早くできるようになった</td> <td>33名(44.6%)</td> </tr> <tr> <td>他職員を探す手間が省ける</td> <td>61名(82.4%)</td> </tr> <tr> <td>内線電話をする手間が省ける</td> <td>32名(43.2%)</td> </tr> <tr> <td>他職員に手伝いを頼みやすい</td> <td>30名(40.5%)</td> </tr> <tr> <td>他職員の声が聞こえるため安心感がある</td> <td>6名(8.1%)</td> </tr> <tr> <td>入所者を待たせることがなくなった(少なくなった)</td> <td>16名(21.6%)</td> </tr> <tr> <td>静かな環境をつくることのできるようになった</td> <td>6名(8.1%)</td> </tr> </table>	他職員への伝達が速くなった	61名(82.4%)	情報共有がしやすい	41名(55.4%)	報告の漏れや忘れがなくなった(少なくなった)	10名(13.5%)	緊急時の対応が素早くできるようになった	33名(44.6%)	他職員を探す手間が省ける	61名(82.4%)	内線電話をする手間が省ける	32名(43.2%)	他職員に手伝いを頼みやすい	30名(40.5%)	他職員の声が聞こえるため安心感がある	6名(8.1%)	入所者を待たせることがなくなった(少なくなった)	16名(21.6%)	静かな環境をつくることのできるようになった	6名(8.1%)
他職員への伝達が速くなった	61名(82.4%)																				
情報共有がしやすい	41名(55.4%)																				
報告の漏れや忘れがなくなった(少なくなった)	10名(13.5%)																				
緊急時の対応が素早くできるようになった	33名(44.6%)																				
他職員を探す手間が省ける	61名(82.4%)																				
内線電話をする手間が省ける	32名(43.2%)																				
他職員に手伝いを頼みやすい	30名(40.5%)																				
他職員の声が聞こえるため安心感がある	6名(8.1%)																				
入所者を待たせることがなくなった(少なくなった)	16名(21.6%)																				
静かな環境をつくることのできるようになった	6名(8.1%)																				
<p>導入後の課題や次年度計画の確認等</p>	<p>導入後間もないため機器の操作が不慣れである。また、積極的に使用する職員とそうでない職員がいるなど個人差もあり、応答が他人任せになることもある。機器に慣れることを最優先に、効果的な活用場面、活用方法を身につける。</p>																				

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	特別養護老人ホームさくらホーム広野【事業所番号：0670800911】		
介護サービスの種類	介護福祉施設サービス	定員数	80名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCANeye Wi-Fi 環境整備 [導入時期]令和3年3月10日 [導入台数]40台(2階のみ)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	施設環境としては、構造上、①ユニット間の見守りが困難。②ユニット内でも、居室同士が離れており、共有の廊下も直線ではなく、入り組んでおり、見守りが困難。③2階の10部屋に関しては、エレベーター及び職員階段から離れており、2階ユニットへのアクセスが悪く、見守りが困難。上記①～③の理由で、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、特に夜勤帯(夜勤業務)の訪室以外の時間帯での見守り業務の強化を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	導入後(1週間後)のアンケートでは、眠り SCANeye 導入により、精神的なストレスが少し軽減、あるいは軽減されたと答えた職員は、61.9%となった。また、転倒リスクがあるご利用者様の見守り業務に、眠り SCANeye の活用は、リスク軽減につながっているとおおいに思う、少し思うと答えた職員は、80.9%となった。以上の結果と上記の①～③から、40床に対し、40台の導入は妥当であった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	眠り SCANeye 導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果(訪室への時間等)、転倒事故への怖れからくる日々の心理的ストレス軽減効果などについて、職員の感想をまとめた。次年度も継続する。眠り SCANeye 導入に対するご利用者様ご家族からの理解も必要なので、介護ロボット(眠り SCANeye・見守り支援システム)導入についてと題した周知文書を配布し、プライバシーに配慮した見守り業務強化であることに理解を求めた。		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	短期入所生活介護事業所さくらホーム広野【事業所番号：0670800903】		
介護サービスの種類	短期入所生活介護	定員数	20名
(介護ロボットの製品名) (通信環境整備の製品名) 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCANeye Wi-Fi 環境整備 [導入時期]令和3年3月10日 [導入台数]10台(2階のみ)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	施設環境としては、構造上、①ユニット間の見守りが困難。②ユニット内でも、居室同士が離れており、共有の廊下も直線ではなく、入り組んでおり、見守りが困難。③2階の10部屋に関しては、エレベーター及び職員階段から離れており、2階ユニットへのアクセスが悪く、見守りが困難。上記①～③の理由で、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、特に夜勤帯(夜勤業務)の訪室以外の時間帯での見守り業務の強化を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	導入後(1週間後)のアンケートでは、眠り SCANeye 導入により、精神的なストレスが少し軽減、あるいは軽減されたと答えた職員は、61.9%となった。また、転倒リスクがあるご利用者様の見守り業務に、眠り SCANeye の活用は、リスク軽減につながっているとおおいに思う、少し思うと答えた職員は、80.9%となった。以上の結果と上記の①～③から、10床に対し、10台の導入は妥当であった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	眠り SCANeye 導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果(訪室への時間等)、転倒事故への怖れからくる日々の心理的ストレス軽減効果などについて、職員の感想をまとめた。次年度も継続する。眠り SCANeye 導入に対するご利用者様ご家族からの理解も必要なので、介護ロボット(眠り SCANeye・見守り支援システム)導入についてと題した周知文書を配布し、プライバシーに配慮した見守り業務強化であることに理解を求めた。		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	0234-62-2941
	メール	ta-yamashita@sakura-welfare.jp

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	特別養護老人ホームさくらホーム【事業所番号：0673200259】		
介護サービスの種類	介護福祉施設サービス	定員数	80名
(介護ロボットの製品名) 通信環境整備の製品名 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCANeye Wi-Fi 環境整備 [導入時期] 令和3年3月10日 [導入台数] 31台 (南棟のみ)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	①居室(1名、2名)の見守りが困難である。②居室同士が直線的な廊下でつながっているが、他の居室へのアクセスが悪く、見守りが困難である。協議時のアンケートでは、構造上、見守りのしづらさを少し感じる、あるいはおおいに感じると答えた職員は100.0%。上記の①②の理由から、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、特に夜勤帯(夜勤業務)の訪室以外の時間帯での見守り業務の強化を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	導入後(1週間後)のアンケートでは、眠り SCANeye 導入により、精神的なストレスが少し軽減、あるいは軽減されたと答えた職員は、91.6%となった。また、転倒リスクがあるご利用者様の見守り業務に、眠り SCANeye の活用は、リスク軽減につながっているとおおいに思う、少し思うと答えた職員は、91.6%となった。以上の結果と上記の①②から、31床に対し、31台の導入は妥当であった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	眠り SCANeye 導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果(訪室への時間等)、転倒事故への怖れからくる日々の心理的ストレス軽減効果などについて、職員の感想をまとめた。次年度も継続する。眠り SCANeye 導入に対するご利用者様ご家族からの理解も必要なので、介護ロボット(眠り SCANeye・見守り支援システム)導入についてと題した周知文書を配布し、プライバシーに配慮した見守り業務強化であることに理解を求めた。		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	さくらホーム短期入所生活介護事業所 【事業所番号：0673200176】		
介護サービスの種類	短期入所生活介護	定員数	16名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCANeye Wi-Fi 環境整備 [導入時期]令和3年3月10日 [導入台数]16台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	①居室(1名、2名)の見守りが困難である。②居室同士が直線的な廊下でつながっているが、他の居室へのアクセスが悪く、見守りが困難である。協議時のアンケートでは、構造上、見守りのしづらさを少し感じる、あるいはおおいに感じると答えた職員は100.0%。上記の①②の理由から、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、特に夜勤帯(夜勤業務)の訪室以外の時間帯での見守り業務の強化を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	導入後(1週間後)のアンケートでは、眠り SCANeye 導入により、精神的なストレスが少し軽減、あるいは軽減されたと答えた職員は、91.6%となった。また、転倒リスクがあるご利用者様の見守り業務に、眠り SCANeye の活用は、リスク軽減につながっているとおおいに思う、少し思うと答えた職員は、91.6%となった。以上の結果と上記の①②から、16床に対し、16台の導入は妥当であった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	眠り SCANeye 導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果(訪室への時間等)、転倒事故への怖れからくる日々の心理的ストレス軽減効果などについて、職員の感想をまとめた。次年度も継続する。眠り SCANeye 導入に対するご利用者様ご家族からの理解も必要なので、介護ロボット(眠り SCANeye・見守り支援システム)導入についてと題した周知文書を配布し、プライバシーに配慮した見守り業務強化であることに理解を求めた。		

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人白鷹福祉会		
事業所名	特別養護老人ホーム白光園【事業所番号：0672700143】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	120名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 無線 LAN アクセスポイント [WAPM-1266] [導入時期] 令和3年2月26日 [導入台数] 8台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	無線 LAN アクセスポイントを設置して眠りスキャンを使用することで、ユニット個室の入居者様の睡眠・覚醒・起き上がり・離床等の状況を、リアルタイムに確認することが可能となっている。パソコンだけでなく、介護職員が携帯するスマートフォンで通知を受け取り状況確認ができるため、入居者様お一人おひとりの生活状況に合わせたトイレ誘導や転倒事故防止の見守りが可能であり、24時間介護職員の業務の支えとなっている。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度など)	無線 LAN アクセスポイント増設工事完了に伴い、専門業者による受信状況調査を実施し、 <u>通信環境の改善を確認</u> する。また、眠りスキャンのメーカー来園時に環境整備について説明し、改善状況を確認いただく。 このことにより、 <u>整備前に通信環境の不具合があった居室でも</u> 眠りスキャンの使用環境が整い、さらなる有効活用につながるものと期待される。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	無線 LAN アクセスポイント増設工事が完了し、通信環境が整備されたため、その後の使用状況について各ユニットにアンケート調査を実施したところ、「通信が途絶えることなく使用できるようになった」「反応が良好になった」という感想がある一方で、改善せずにエラーが出る眠りスキャンが何台もあった。 メーカーに依頼し確認すると、眠りスキャンは各ユニットのパソコンを親機としており、ユニット内で使用する設定となっていた。しかし、隣のユニットの方がより必要性が高いと判断した場合、協		

カユニット間で移動して使用していた。そのためアクセスポイントを増設してもエラーが出て安定した活用ができなかった。

今年度4月から施設が新しい場所に移りユニットケアとなったが、介護職員への周知が不十分だったと思われる。

ICT（情報通信技術）の活用には、現場で使用する介護職員への機能等の説明と情報共有が最重要で、業務効率化のカギになると考える。

今後も入居者様への安心安全な暮らしの提供と職員が働きやすい職場環境整備を行うため、次年度はメーカーとともに当園において最も活用しやすい設定を検討して改善するとともに、職員への周知徹底を図り必要な台数を確認し、さらに有効活用を図りたい。